

事業 優先順位		2 細事業: 広報推進事業				整理 番号		04							
目的		市政情報や本市の魅力をホームページ、パンフレット、ビデオ映像、新聞報道など様々な情報メディアを通じて、市内のみならず市外にも発信することによって、市政の円滑な運営を行うとともに、より一層本市のイメージ向上を図り、定住や転入を促進する。													
目標		ホームページ、パンフレット、新聞報道など様々な情報メディアに本市の魅力を発信するとともに、ビデオ映像の活用などにより本市をPRして、定住促進や観光客、転入者の増加をねらう。													
事業 実施主体		直営	事業開始 年 度	昭和47年度以前	根拠 法令										
事業費・財源			平成25年度	平成24年度	比 較		コスト情報・従事職員数			平成25年度	平成24年度	比 較			
	事業費（決算額）（千円）		3,934	3,843	91			総コスト（千円）		9,652	10,985	-1,333			
	財源内訳	一般財源		3,489	3,528	-39		内訳	事業費		3,934	3,843	91		
		国府支出金		0	0	0			人件費		5,718	7,142	-1,424		
		地方債		0	0	0			公債費		0	0	0		
		水道事業会計負担金		28	315	130		一人あたり（円）		86	97	-11			
		広告料収入		417				世帯あたり（円）		204	233	-29			
				0				参考	職員数（人）		0.75	0.90	-0.15		
									再任用職員数（人）		0.00	0.00	0.00		
	今後の方向性		ホームページ、パンフレット、新聞報道など様々な情報メディアに本市の魅力を発信するため、限られた人員、予算の中で、見やすさや見てもらうためのアイデアや工夫を凝らしていく。												
評価	妥当性		効率性		有効性		対象者	河内長野市民及び市外居住者							
	B		A		A										

河内長野市制施行 60 周年記念誌「かわちながの 温故知新」

☆表紙



☆市長挨拶とまちのシンボル



☆あこのころの河内長野



☆60 年のあゆみ



☆かわちながのし いろはかるた



☆かわちながの未来予想図



☆60 周年記念事業の案内など



☆裏表紙



細事業：広報推進事業

1. ホームページによる市政情報の発信

インターネットによる情報発信を行うため、市のホームページを運営。各担当課が最新情報に随時更新した。その結果、市ホームページには年間 664,330 件のアクセスがあった。

CMS（ホームページ管理システム）賃借料 1,260,000 円

また、自主財源の確保や地元商工業者の育成・振興、市民への生活情報の提供などを目的として、平成 19 年 3 月からバナー広告を掲載している。

広告件数 19 件（3 か月単位で 1 件としている）

広告収入額 417,375 円



2. フェイスブックによる情報発信

平成 24 年 6 月から、市フェイスブックのページを立ち上げ、市の取り組みやイベントなどの行政情報を発信した。



3. 報道機関との連絡・調整

マスコミを通じて市を P R するため、報道機関に対して予算の概要をはじめ、重点施策や市議会議案の説明を行うとともに、市民の身近な話題づくりやふるさと意識の定着を促すまちの話題なども提供、連絡・調整に努めた。

4. 市制施行 60 周年記念誌「かわちながの温故知新」の作成

平成 26 年度に市制施行 60 周年を迎えるにあたり、これまでの歩みを振り返り、市民に市への愛着を深めていただくとともに、さらなる発展をめざして、市制施行 60 周年記念誌「かわちながの温故知新」を作成し、市内全戸に配布した。なお、紙面には市民に提供いただいた写真や「かわちながのし いろはかるた」のイラストのほか、市内小中学生によるワークショップの様子などを掲載した。

市制施行 60 周年記念誌印刷業務 1,080,000 円

市制施行 60 周年記念誌航空写真撮影業務 110,250 円

市制施行 60 周年記念誌配送業務 436,774 円



5. シンボルキャラクター「モックル」の活用

市への愛着や誇りをはぐくみ、個性あるまちづくりを目指すとともに、市のイメージを内外に伝えるため、市のシンボルのキャラクターの活用を図るべく、立体デザインに基づき作製した着ぐるみ（2 体）を使って、イベントなどにおいて市の P R を行った。

シンボルキャラクター（モックル）メンテナンス業務委託料 120,000 円

シンボルキャラクター「モックル」着ぐるみ貸出件数 51 件



6. お知らせ電話

休日急病診療所の案内などを留守番電話に録音。閉庁日でも聞ける 24 時間サービスの「お知らせ電話」を実施し、年間 53 件の利用があった。

7. 広報板の自治会・町会への提供

地域住民相互のコミュニケーションを図ってもらうと広報板を作成し、要望のあった自治会などに提供した。また、平成 25 年度からフレームが使用可能な場合は板のみの原材料の提供を行った。

広報板作製業務委託料 236,250 円 板の原材料費 163,800 円